

あうる

Treasure every meeting as it's chance
to happen is only once in a life time.

北海道歴史秘話19

市民参加で造成された
他に類をみない函館公園。
手作りの公園造成には
実は札幌への対抗意識があった。

洋式公園の登場

日本の近代都市公園草創期にあたる明治十二（一八七九）年に開設された函館公園。その面積はおよそ四・八ヘクタール。札幌ドームのアリーナが三つ入る広さだ。園内は百三十年以上経ったいまも、造成当時の姿をとどめており、春はおよそ六百本のサクラが開花する桜の名所となっている。この函館公園の誕生は、札幌に対する対抗意識からだった。

江戸時代、一般にも開放していた公園といえは水戸の偕楽園や白河の南湖園などの大名庭園だが、まだその頃は「公園」という言葉はなかった。公園という言葉が初めて登場するのは、明治六（一八七三）年の『公園開設に関する太政官布達』から。「左の場所に遊観場を設けられこれを公園と称し、長く人民歓楽の地と相定め」と謳いあげ、日本の近代的な公園制度がスタートした。

道内は札幌が最初

明治三（一八七〇）年に我が国初の洋式公園として横浜の山手公園が造られたが、これは居留外国人の手による外国人専用の公園で日本人は利用できなかった。日本人が利用できた国内初の洋式公園は、明治九年（一八七六）に開園した横浜公園と言われている。

では、北海道はどうかというと、道内最初の洋式公園は、明治十一年（一八七八）にできた札幌の偕楽園。水戸の名前をそっくり頂戴したもので、北七条西七丁目にあった。

この一帯には、果樹・蔬菜を栽培する開拓使の官園があり、シャクシコト二川も流れていた。この頃の札幌の人口はわずかに二千人ほど。それなのに道内初の洋式公園が官の手によって造られたのである。

公園造りの動き

面白くないのは、函館の人たち。当時の函館の人口は約三万人。もちろん道内一の人口である。最初の公園は当然函館に造られて然るべきなのに、奥地にあるわずか二千人の札幌に造成するとは…というわけだ。

実は以前から函館には公園造りの動きがあった。函館駐在のイギリス領事リチャード・ユースデンが、「開港地である函館には、外国人がたくさん住んでいるし、市民の憩いの場としても公園が必要である」と『公園



函館公園桜花満開ノ景（函館市中央図書館蔵）

当時、道内一の人口だった函館。
市民が待ち望む洋式公園は
奥地にあるわずか人口二千人の
札幌に造られた

開設に関する太政官布達」を根拠に、公園造りを呼びかけた。その提案に函館市民が賛同した。

しかし、問題は公園の場所。太政官布達では「一般に開放できる名所・旧跡や広大な面積を所有する寺社境内」を公園にするよう定めていたが、函館にはそんな場所はなかった。開拓使は、谷地頭にあるおよそ八五〇〇坪の官有地の御用畑とその周囲を公園地にしてほしいと、その意向を伝えた。

寄付金

費用調達のほうはどうかといえば、こちらもおぼつかない状態だった。御用畑周辺の私有地買上代金その他の資金は民間のお金で充当するしかなく、とりあえず公園予定地に標柱を立てたりして体裁を整えていた。ここでユースデン夫妻と懇意だった商人渡辺熊四郎が、公園設立費として金一千元を寄付し、率先して公園開設運動に尽力した。渡辺がユースデンから「病院は病人に必要、公園は健康体の養生所」であると公園の効用を度々聞かされていたためである。

住民参加で公園造り

札幌に偕楽園ができた明治十一年、まず園の地所を拡張するため、隣接する民

有地の買い上げが開始された。公園正面入口周辺のおよそ一二〇〇坪は、所有者が寄付してくれた土地だった。工事の監督には、谷地頭で料亭を営み築庭園芸の才能もあつた浅田清次郎が任命された。浅田は既に老齢に達していたものの、連日のように工事を督励し、私財を投げ打つての協力も惜しまなかった。また、園内に築山を造成する際には、開拓大書記官以下函館支庁の官吏達が休日に入土運びの勤勞奉仕を行い、人夫賃を節約した。それ以来、各町から競って大勢の人が繰り出し、消防組や芸妓・娼妓達も出勤、近在の村にいたるまでボランティアによる参加が盛んになり、函館市民の公園に寄せる関心が高まっていた。



函館公園全図（函館市中央図書館蔵）

そしてついに明治十二（一八七九）年、文字通り「市民の手作り」による、日本初のパートナーシップ型都市公園「函館公園」が誕生した。このように函館公園の特色は、国内では他に例を見ない、活発な住民参加による公園造成にあった。

平成十八年には、『日本の都市公園史上特筆されるべき価値を有する記念碑的な公園』であると評価され、文化財保護法に基づく登録記念物「函館公園」として文化財にも登録された。

杜あうるの

イラストレーター
佐々木小世里さん

Interview

イラストレーター歴21年、主婦歴25年という佐々木小世里さん。現在、北海道新聞生活面で「キラリ見つけた」を連載中です。「あうるの杜」今回は小世里ワールドのお話です。

教育大特美までの道

稚内で生まれて、幼稚園から小学校三年生まで中頓別。父の転勤で恵庭に移ったのが一〇歳から一八歳。高校は札幌東高に通っていました。本当に細切れ。

子供の頃ノートを買ってもらったと、まず絵を描いていましたね。絵が好きだ、という子だったんだけど、中学の美術の先生が、よろしくない先生で、課題だけ出して何にも教えない。それで一時面白くなくなった。ずっと習字もやっていたので、高校では美術ではなく書道を選択しました。

学校祭でいろいろなものを描いたり作ったりする時、美術の好きな子はみんな美術クラスに行っている。こっちは書道だからあんまり絵の好きな人がいない。それで自分が一生懸命描いているうちに、「あっ、やっぱり好きだな」と。その秋から美術部に入りました。美術部の先生は、すごく力強くて自信家で「俺に習っていたら教

出合いの 一つひとつが とても愛おしい



きっかけ

育大の特美合格なんて楽勝だ」と。私、「そうか。特美という選択肢もあるんだ」ということを知り、札幌の教育大特設美術科に入学しました。

今年で仕事を始めて二年で

佐々木小世里

ささき こより

北海道教育大学札幌分校特設美術科卒業
1992年よりイラストレーターとして新聞・雑誌・広告などで活動。札幌市在住。

【主な仕事】○北海道新聞/「小世里のいいもの見つけた」(2009～2011)、「小世里の歳時絵」(2011～2012)、「キラリ!見つけた」(2012～連載中)○朝日新聞北海道版/谷村志穂の「空色水曜日」挿絵(2002～2003)○花新聞ほっかいどう/「小世里の花へんろ」(2010～連載中)○poroco/「美人の作り方」(2007～2010)、「アストロジー」(2010～2012)○装丁画/「こんな夜更けにバナナかよ」渡辺一史著(北海道新聞社刊)○出版/「ほっぺおちの旅」(2008年北海道新聞社刊)ライターの柳亜古さんと共著。



す。結婚して専業主婦をやっていたんですが、主人に「せっかく美術の勉強をしたんだからイラストでも描けば」と言われて始めたのが二八歳の時。短い筆と水洗いが付いている旅行用のちっちゃな水彩のパレットを買ってハガキ大のスケッチブックに描き始めたら「こういう軽いノリって私に合ってるのかな」という展開になっちゃって。「このタッチ、今っぽくもあるから私でできるかも」ってチョット調子に乗り、知り合いの紹介で『オントナ』の表紙を描かせてもらったのが、この仕事のスタートでした。

キラリ見つけた

去年の四月から道新の生活面で連載を開始しました。

手抜き主婦二五年のおばちゃんの直感に引っかけた「土地に根っこをはやしてがんばっている人」を訪ね、生産物や作品、取り組みを取材し、イラストと短い文で紹介するという軽いものです。

絵は単に風景を描くんじゃなく「どこを際立たせようか」とか「どういうふうな構成しようか」とか、結構作りこんでいます。出合いの一つひとつがとても愛おしく、「どこを可愛く見せてあげようかな」と思ってしまうんです。

反響はすごくあるようです。この前も取材先から「こんなに反響があると思っていなかったの、普段通りの量を並べたら、数が少なくなって、その日は閉店してしまいました」という電話をもらいました。「素敵なケーキをこんな絵にしちゃってごめんなさい」と言ったら「すごく気に入りました」って。こういうやり取りがすごく力になります。きれいなものを描く場合、絶対実物のほうが美しくてステキですから、すごく難しいんですよ。

インクで描く

色ってすごく元気をくれます。

冬の北海道は真っ白になるから、鬱になる人が多いそうです。そういう時に明るい色の絵を見ると、気分が盛り上がって来る。

画材はインクを使っています。水彩絵の具だと少し色調を落として使いたいほうなので、補色を少しだけ混ぜます。赤をチョット沈めたい時にはグリーンなんですけど、水彩はそれをチョットと入れるとドーンと沈んでしまう。インクは補色を入れても沈まずにニユアンスが落ち着く。それで気に入って。かなり薄めて使うものも多いし、絵も小さいですから、そんなに量は使いません。それにインクは仕上がりが一番早いんですよ。水彩画だとキャップをひねって絵の具を落とすし、溶かなければならぬでしょ。インクはスポイトをピュッと押せばいいだけなんで。だからとっても私に合っているんでしょね。

特別絵がうまいというわけではなく、今まではただ何となく絵が好きだから、この道を歩んで来られたんだと思います。どちらかというと、絵というよりもみんなとの繋がり、コミュニケーションで活かされてきた。そういった面では、自分の持っている性格が、今の仕事にすごく活かしているんだなって、そう感じます。

約束事のキャラクターセリフ

テレビドラマや小説の中のセリフには定番のものがあります。実際には絶対そんな話し方をする事などあり得ないのに、そう表現しなければどうも感じが出ないという類のものです。

例えば、上司が部下に向かって話す場面がよく使われる言葉に、「……してくれたまえ」「……したまえ」があります。「今日中にやっておいてくれたまえ」「その仕事を早く終わらせたまえ」。こういう喋りがよく出てきますよね。はたして上司はこんな言い方をしているのでしょうか。それらしく聞こえる、それらしく読める、ということ重視するのでこういう言葉を使っただけです。「今日中にやっておいてね」「その仕事、早く終わらせてよ」。これが現実の世界で使われている言葉だと思えます。言わば『約束事のキャラクターセリフ』なのです。

老人が若い頃見た UFO を物語るシーンで、こう語ります。「わしは見たんじやよ。わしは宇宙人と話をしたことがあるんじや」。今どき「わし」などと言う老人などいません。そう言わせるのが TV や小説のパターンなのです。そう書いたり喋らせたりしたほうが型通りで、みなが納得しやすいからです。「僕見たのさ。宇宙人と話をしたんだもんね」なんてセリフだったら、ガタガタになってしまいます。

外国の TV の吹替えや翻訳小説に登場するアメリカの南部人も、なぜか東北弁もどきに翻訳されることが多くなっています。「なんちゅうこんだ。おら、そつたらつもりで言ったわけだええ。どうです、アメリカ南部人の雰囲気が出ていますよね」。

実際にはあり得ないのですが、こういう『約束事のキャラクターセリフ』により、読む人にそれらしいミュードが伝わりやすくなるのです。

O W L I N F O R M A T I O N

『建築家カタログ』出版記念イベントを開催

北の建築家と家のつくり 北国で培った設計ノウハウ
5月18日(土)～23日(木) 10:00～19:00(最終日は18:00まで)
紀伊國屋書店札幌本店 2Fギャラリースペース
(札幌市中央区北5条西5丁目7 sapporo55ビル) 入場無料

日本建築家協会北海道支部は、『建築家カタログ 北の住まいを建築家とつくる』の最新版を約3年ぶりに発行しました。A4判オールカラー160頁で、前半は北の建築家たち56組の経歴や施工実績などを、ふんだんな写真で紹介。後ろから読み進む後半は「+αのDesign」と題し、施工例やインタビューなどで構成されています。建築家と家のつくりのプロセスなど、参考となる情報が満載です。

刊行に合わせ、紀伊國屋書店札幌本店で同時イベントを開催。2階ギャラリースペースでは、本書に掲載された建築家たちが、北の住まいの建築技術をパネルなどを使って展示します。展示初日の18日には、1階インナーガーデンでトークイベントを行い、「北海道ならではの家づくりポイント」「北国で培った設計ノウハウなど」の二部構成で、北国の住まいに役立つポイントなどを紹介する予定です。



建築家カタログ
「北の住まいを建築家とつくる Vol.5」
1,300円(税込)

近代日本の黎明期を伝える初期写真の数々

夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史 北海道・東北編
5月18日(土)～7月14日(日) ※6月17日に展示替えあり
北海道立函館美術館(函館市五稜郭町37-6 TEL 0138-56-6311)
9:30～17:00(入場は16:30まで) 休館日/月曜日
観覧料/一般800(600)円、高大生500(400)円、小中生200(100)円
※()内は前売・10名以上の団体料金。ほか各種割引制度あり

開国と時を同じくして日本にもたらされた写真。本展では東京都写真美術館を中心に、北海道・東北の公共機関の持つ写真作品、資料を幅広く調査・研究。その成果をもとに、それらの収蔵作品に加え東京都写真美術館と日本大学芸術学部の収蔵作品を併せ、現存する幕末～明治の貴重な写真を一堂に展示します。また、明治時代の天災記録写真を特別展示として出品し、災害の悲惨さや写真の持つ特性を見つめ直します。巡回作品に加え、函館美術館では重要文化財に指定されているペリー艦隊の写真師が撮った銀板写真など、道南地方の写真史を伝える作品を追加展示。意匠の凝らされた台紙など、時代性を感じられる初期写真をご紹介します。



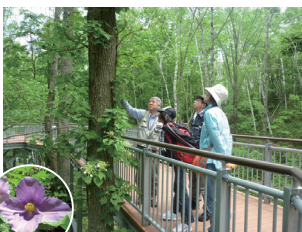
撮影者不詳(陣羽織姿の松前崇広) 1866年以前 アンプロタイプ 松前町教育委員会蔵(通期展示)

待望のグリーンシーズンオープン！

国営滝野すずらん丘陵公園

札幌市南区滝野247 滝野公園案内所(総合案内) TEL 011-592-3333
グリーンシーズン 4月20日(土)～11月10日(日) 9:00～17:00(6～8月は18:00まで)
入園料/大人400円、小人(小・中学生)80円、小学生未満無料、シルバー(65歳以上)200円 ※別途駐車料金がかかります。各種パスポートあり

国営滝野すずらん丘陵公園が、4月20日から待望のグリーンシーズンの営業を開始しました。植物が芽吹き、生き物が活動始めるこの季節のおすすめは、2010年にオープンした〈滝野の森〉ゾーン西エリア。森の中の散策路を、ヒトリスズカ、エンレイソウなどの山野草のほか、葉の少ない時期には野鳥を観察しながらの散策が可能です。5月中旬からは山野草の女王シラネアオイが開花し、200株を超える淡紫色の大群落を見ることができま



5月中旬からはシラネアオイが見ごろ！

毎週水・日曜日は〈滝野の森クラブ〉ボランティアによるガイドツアーも実施。森に詳しいボランティアガイドが、森を楽しむポイントを丁寧に解説します。広大な園内には、他にも四季を通じ花が楽しめるカントリーガーデンを始め、サイクリングやパークゴルフ、4か所のバーベキューコーナーなど、自然と親しむ施設や遊具が盛り沢山。(オートリゾー滝野)も営業を開始し、全国的に評価の高い施設で気軽にキャンプが楽しめます。

おすすめ本

大逆罪

北村巖・著 中西出版 定価2,520円(税込)
四六判、346頁 2013年3月刊行

近代日本に影を落とす「大逆事件」に迫る

かつて天皇制護持を目的に施行された「大逆罪」。その下で起きた幸徳秋水の所謂「大逆事件」と「朴烈・文子事件」を検証し、事件を巡る背景や人々の思惑を浮き彫りにします。



10名様図書カードプレゼント！

「あうる」47号読者の皆さまへ、今回は10名様に図書カード(1,000円分)をプレゼント！



図書カードをご希望の方は、お名前、ご住所、お電話番号、ご職業、「あうる」入手場所、感想を添えて、中西出版までハガキまたはメールでご応募ください。ご応募多数の場合は抽選となります。賞品は発送をもってかえさせていただきます。どうぞお楽しみに！
締切りは、2013年6月30日まで。

